

令和3年度第2回奈良市アートプロジェクト実行委員会 会議録

| | | |
|------|---|--|
| 開催日時 | 令和4年2月16日（水）9時半から10時半まで | |
| 開催場所 | 奈良市役所中央棟5階秘書広報課会議室 | |
| 次第 | 1 開会 2 委員長挨拶 3 議事 (1) 委員長専決事項報告 (2) 令和3年度事業報告について (3) 令和4年度事業計画（案）について 4 閉会 | |
| 出席者 | 委員 | 仲川委員長、※佐々木副委員長、※青木委員、※萩原委員、 【計4人出席，※内リモート3人】 |
| | 事務局 | 中川事務局長（奈良市市民部長）、中川事務局次長（奈良市市民部次長）、 森事務長（奈良市文化振興課長）、吉川、荒益、栗原、吉川（事務局・文化振興課） |
| 開催形態 | 公開（傍聴人無し） | |
| 決定事項 | ●全議案について 承認された。 | |
| 担当課 | 奈良市アートプロジェクト実行委員会事務局（市民部文化振興課） | |

議事の内容

- 1 開会
- 2 委員長挨拶（事務局長が代理で挨拶）
- 3 議事
 - (1) 委員長専決事項報告（会則8条の2）
 - (2) 令和3年度事業報告について
 - (3) 令和4年度事業計画（案）について
⇒すべて承認

事務局説明

- ・ 令和3年度事業では、クリエイションプログラムとして「ならのまち演劇フェス」を、ラーニングプログラムとして会田大也トーク&ワークショップ、グリーン・マウンテン・カレッジ(GMC)、アートとまちづくりカンファレンス、演劇ワークショップ等を実施したことについて、事務局より報告をおこなった。
- ・ 令和3年度総括として、専門人材のネットワーク化につながる成果が得られたこと、商業施設等との連携など地域活性化の視点が課題であることなどを報告した。
- ・ 令和4年度事業計画（案）について、クリエイションプログラムとして「(仮称) コロガル公園プロジェクト」を、ラーニングプログラムとしてグリーン・マウンテン・カレッジや青少年対象演劇ワークショップ、アートとまちづくりカンファレンスを行う提案を行った。

委員意見

- ・ 東アジア文化都市は、今年、大分県が日本の開催都市である。奈良市において、事業を継続的に進めることで良さが出ており、繋いでいくことが大事だと感じた。
- ・ 継続の効果が出ていると思う。学生の催しなどはもっと広がっていくことと思う。
- ・ 学校の部活動について、スポーツ庁や文化庁により見直しの動きがある。そういった視点で、本プロジェクトにおいても学校の部活動を巻き込んでいってはどうか。
- ・ 演劇公演が見られなかったが、アーカイブがあればと思う。
- ・ 平田オリザ氏と奈良市長との対談では、コロナ禍により様々な国の人たちが仕事を失っていることや、韓国での文化芸術のあり方などをご紹介いただいた。
- ・ 大阪中之島美術館の開館など、近畿内では美術に動きがあるので、うまく連携ができるのではないかと考える。
- ・ 2025年には大阪・関西万博という大きなイベントが控えており、関西の大きな動きのなかでどうあるべきかというのは課題。
- ・ 全国的にはアーツカウンシルが文化芸術の施策・事業を推進するケースが増えてきている。奈良市も検討していくのがいいのではないかと思う。
- ・ 子どもを対象とする事業については、学校としっかり連携し広報を行うべきである。
- ・ (事務局) コロガル公園については、奈良市役所の屋上を検討しているところである。

4 閉会